

# 未来を切り拓く「考えるワザ」。 思考技法。

22世紀に向かって生きる子どもたちが対峙しなければならない数々の問題や課題。貧困、飢餓、格差、資源、気候変動、紛争、科学技術の発達。どれも複雑に絡み合い、解決の道筋がはっきりと示されるものではありません。時代は、未知の未来到来の準備として新しい学びのチカラを求めています。その一つの表れが、教育界で行われている高校と大学の接続問題をめぐる大学入試改革の議論です。知識偏重から思考力・判断力・表現力へ。求められる主体性、多様性、協働性。いよいよ、従来の教科書の中で閉じた「知識の量=暗記力」や「問題を解く速さ=処理力」の学びは終焉を迎えようとしています。千変万化する状況の中で、「知識」と「知恵」、どちらが未来へのパスポートかと問われれば、多くの人が「知恵」と答えるでしょう。知識は日々更新されていくけれど、知恵は持続可能。知恵を育て続けるものを、日能研では、「考えるワザ」=思考技法と言います。「原因と結果という関係で、知識と知識をつなげる」一、「さまざまな着眼点で情報の構造をとらえる」一、

「複数の情報の共通点や相違点をとらえる」一。「考えるワザ」は、「教科=ワク」を超えて使えるチカラ。既存の知識は、万人共通の道具。それを素材にして、知識と知識をつなげ、多様性をつくる「思考技法=考えるワザ」を獲得すれば、子どもは自分で学び進んでいくことができるようになる——。それが学ぶということ。

思考技法を獲得した子どもたちは未来を切り拓くチカラを自分自身で育み続けることができる。数々の問題を日常の文脈を使って考え、横断的な問題にも対峙し解決できるチカラ。現実には起こりうる問題の中からその特性を定め、多角的な視点で問題に自分としての解決策を表現するチカラ。知識のつなぎ合わせ方を柔軟に変化させ、自分として考え、答えを導き出す、「私」のチカラ。

未来を切り拓く「考えるワザ」=思考技法が、日能研にはあります。

—— どうぞ日能研のテストと一緒に体感してください。



つながっている—— 私学にも、未来にも。

国・算・総合

## 日能研 学ぶチカラテスト

11月29日

小2 小3  
小4 小5

参加無料

[科目] 3科目(国語・算数・総合)  
[時間] 1回目 9:00集合  
2回目 13:00集合  
[会場] お近くの日能研各校  
学校行事などで都合がつかない場合は、お気軽にご相談ください。



子ども達のための新しい評価「日能研ルーブリック」採用

テストの結果は個人別情報サイト(Nポータル)で翌日配信

今回のテストについて、そのねらいや今後の学びなど、詳しくお話しします!

保護者会同時開催



▼スマートフォンからはこちら



テストの詳細・お申し込みは [日能研](#) 検索 またはお近くの日能研へ!